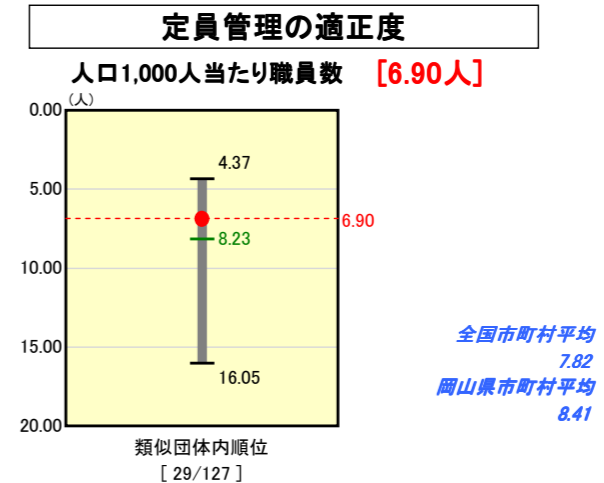
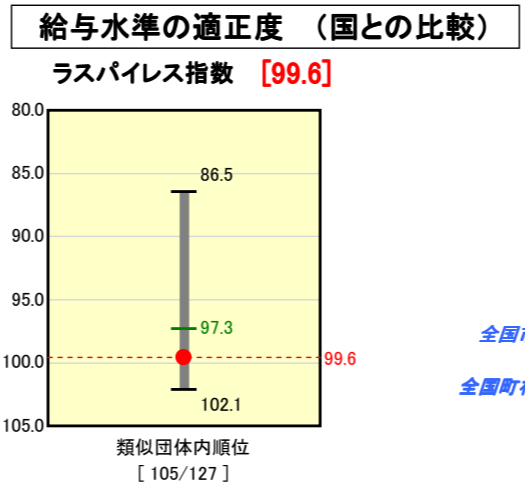
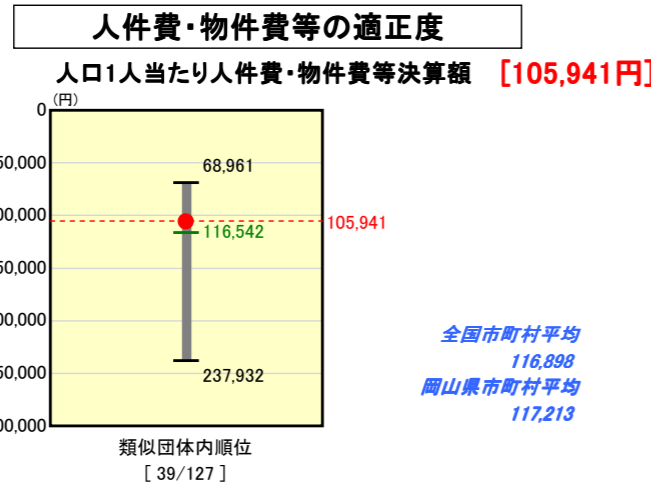
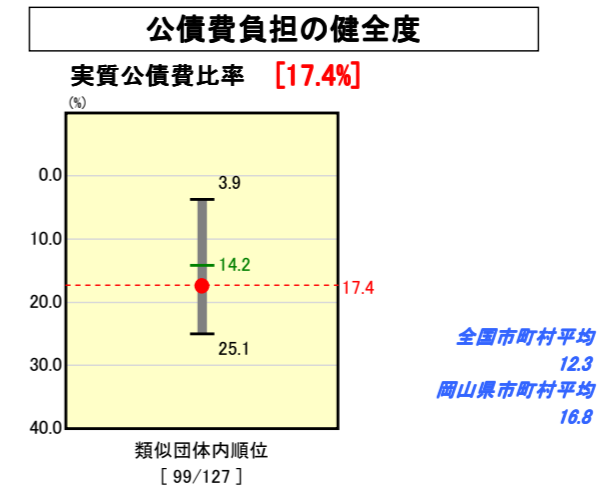
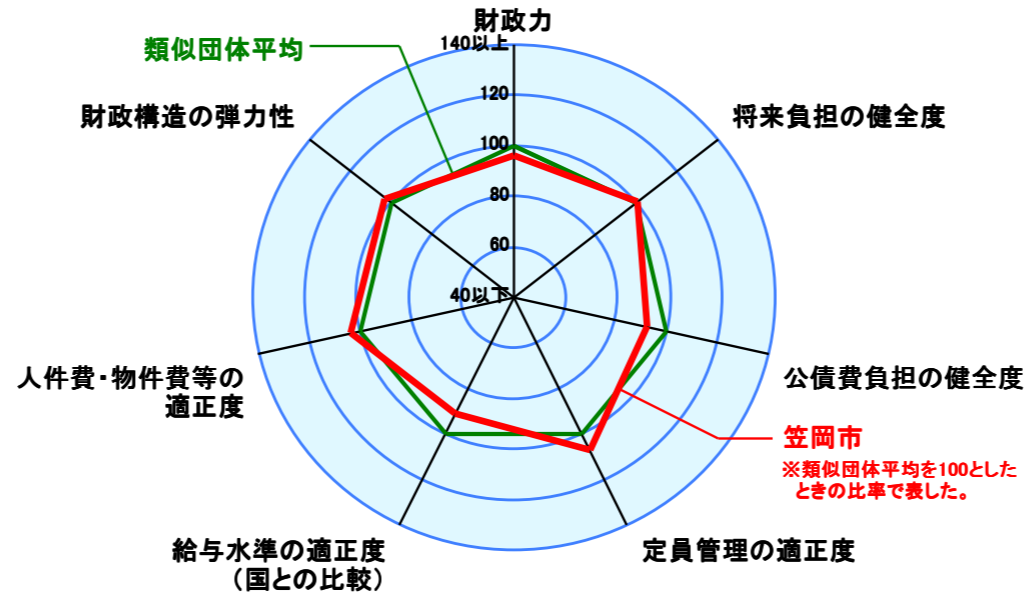
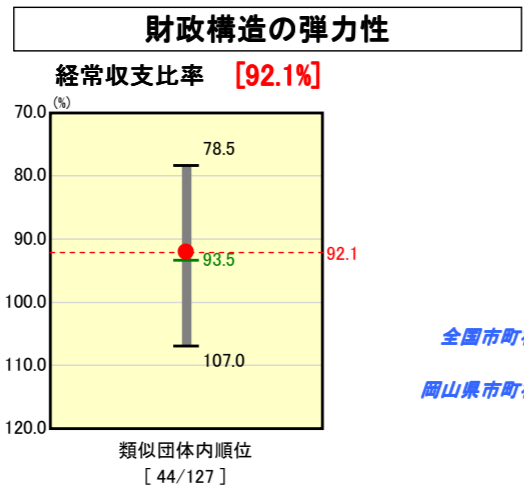
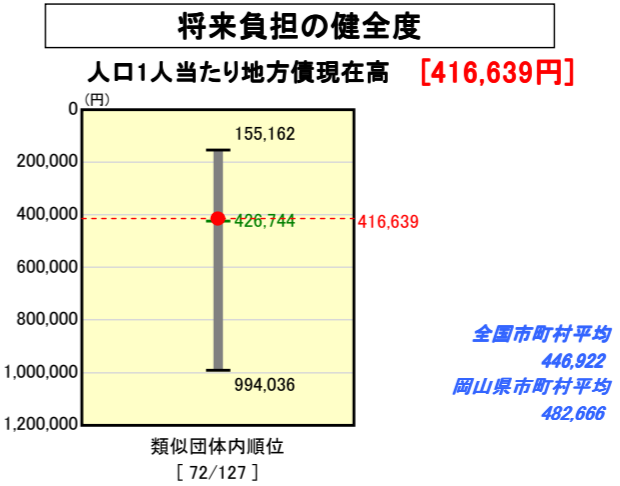
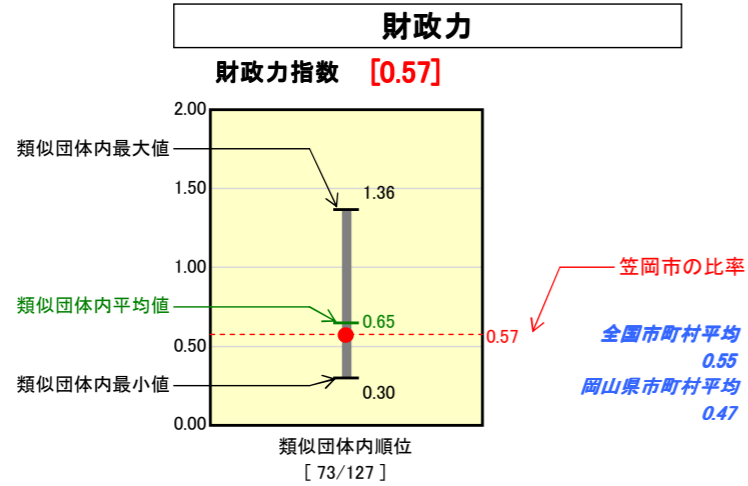


# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 岡山県 笠岡市

人口	55,945人	(H20.3.31現在)
面積	136.03	km <sup>2</sup>
歳入総額	21,305,801	千円
歳出総額	20,730,284	千円
実質収支	567,920	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**財政力指数:** 人口の減少(対前年比1.3%減)や全国平均を上回る高齢化率(H20.3.31現在 28.7%)に加え、市内に中心となる産業が少ないこと等により、財政基盤が弱く、類似団体平均を下回っている。投資的経費を抑制する等、歳出の徹底的な見直しを行うとともに、税収の徴収率向上を図り、歳入確保に努める。

**経常収支比率:** 財政健全化計画に沿って内部管理経費等の削減を進めたことにより、類似団体の平均値を下回っている。今後は平成20年度に新たに策定した財政運営適正化計画に沿った人件費の抑制、内部事務の効率化、公債費の適正化、事務事業の見直し、公営企業の経営健全化による繰出金の削減など、引き続き経常経費の圧縮に努める。

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額:** 類似団体平均を下回っているのは、主に人件費を低く抑えていることによる。平成16年度から平成18年度までの3年間、退職者不補充としたことにより職員数の削減が図られたことが主な要因である。今後もコストを意識しながら内部管理経費の適正化に努める。

**ラスパイレズ指数:** 平成18年4月に給与構造を改革するとともに、平成19年1月に給料表の見直しを実施するなど、適正化に努めているが、全国市平均より2.6ポイント、類似団体平均より2.3ポイント上回っている。

**人口1,000人当たり職員数:** 平成16年度からの3年間で退職者不補充としたことにより、類似団体平均を下回っている。今後も職員の定員適正化計画に基づき、行政サービスの低下を招かないように適正な人員配置に努める。

**実質公債費比率:** 類似団体内でも低い順位となった主な要因は、下水道事業会計への繰入金に占める公債費及び国営笠岡湾干拓事業の償還金が、財政規模に対して多額なためである。財政健全化計画に沿った起債額の抑制により改善傾向にあるが、引き続き、公債費負担適正化計画及び公営企業経営健全化計画とも合わせて健全な財政基盤の確立を図り、平成24年度までに16%以下を目指す。

**人口1人当たり地方債現在高:** 地方債の発行総額を財源対策債を含み単年度15億円以内に制限し、償還額以上に借入をしないことで、計画的に起債残高を減少させた。これにより、普通会計ベースでは類似団体平均を下回るまで改善した。